

令和元年度2月号 [2月17日(発行)]



東風だより

川口市立東中学校
川口市東本郷2-20-47番地
TEL 048-281-4065
特別支援学級 285-2423
さわやか相談室 281-4627
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

忘れられない親の姿

校長 安部正幸

先様の玄関先で私の前に立ち、ひたすら頭を下げて謝罪している両親の姿が50年以上たった今でも頭から離れません。あれは確か小学校1年生か2年生の時のことでした。時期は良く覚えていませんが、その出来事だけは今でも鮮明に覚えています。

悪戯をした我が子の前で頭を下げる親

その時、私は仲の良い友達に誘われて二人で他人様の家に、クレヨンで落書きをしてしまいました。私の心の中には「自分は誘われてやっただけだ。」「自分は少ししか書いていない。」「落書きのほとんどは友達がやったことだ。」という甘い考えがありました。しかし、先に述べたように私の両親は、先様の玄関先でそのようなことは一切言わず、ひたすら頭を下げて続けていました。その姿を見て、私も初めて自分の行った悪戯の重大さを思い知りました。家に帰ると、母は涙を流しながら厳しく私のことを叱責しました。父は厳しい表情のまま何も話しませんでした。私は両親に向かってひたすら謝り続けました。結果的に父は、先様に謝罪する姿を私に見せただけでした。しかしそれだけに、自分のせいで親にそのようなことをさせてしまったという気持ちが、一層深く心に残ることとなりました。

親の姿が最大の躰

あの時、両親が先様に謝罪する中で、少しでも「うちの子は誘われてやっただけだ。」「うちの子だけが悪いんじゃない。」「原因は他にあるはずだ。」など、言い訳や他に責任を押し付けるような発言をしていたら、先様も許してくれなかったと思います。そして何よりも、その後ろで私は子どもながらに心の中で『そうだそうだ。なかなか、話の分かる親だ。』と舌を出して微笑み、何の反省もしなかったことと思います。そして、再び悪戯をはたらくことになっただろうと考えています。

『悪戯をした我が子の前で、親が頭を下げる姿を見せることは最大の躰になる。』という言葉があります。最近では、躰をはき違えて虐待におよんだり、逆に我が子可愛さにかばいすぎて躰になっていないケースがあると聞きます。では、二人の子どもを育て終わった私自身はどうだったかと言われると、なかなか自分の両親のようにはできなかったと反省しているところです。両親共にもうこの世にはいませんが、その偉大さに敬服するとともに、自分を正しい方向に導き、今こうして幸せに暮らせていることに感謝しているところです。